

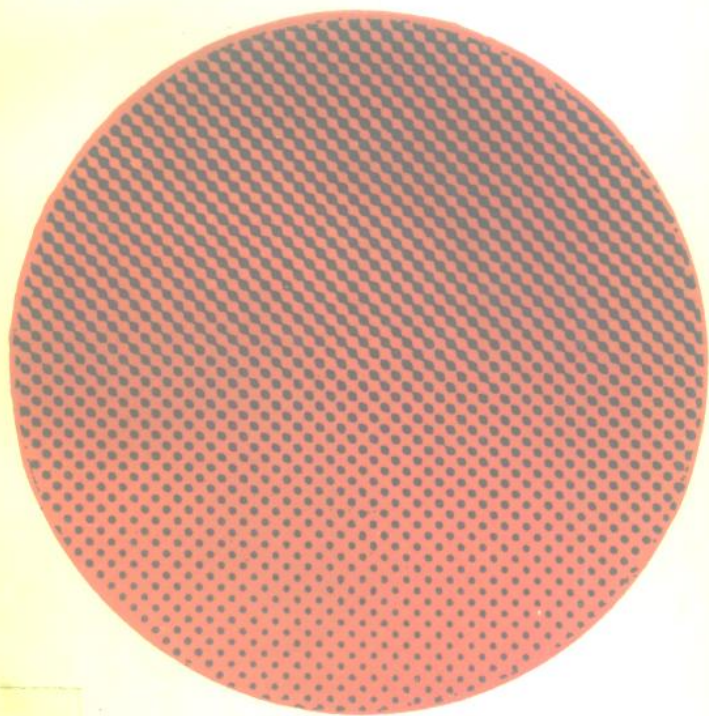
高等学校试用教材

高级日语

GAO JI RIYU
JIAO CHENG

教程

李士俊 冯建力 卢翠雪
张长林 雷跻九 合编



こうきゅうにほんごきょうてい

高等教育出版社

高等学校试用教材

高级日语教程

编者

李士俊 冯建力

卢翠雪 张长林 雷跻九



高等教育出版社

DW3107

内 容 提 要

本书是陕西省外语教学研究会日语分会组织编写的高级日语教材，可供各专业研究生和高年级本科生用作日语课本，也可供社会上具有一定日语语法基础的人员用作提高性课本。

本书共有20课。每课内容有：课文、课文注释、语法解说、词汇和句型解说、会话、练习等6个部分。由于编者坚持国内已选用过的课文一律不选的原则，所以课文选材新颖，不落俗套；注释精当，语法解说及练习均符合高层次学员的需要；会话紧密结合课文，地道实用。

本书在试用过程中深受师生的好评。

责任编辑 尹学义

(京)112号

高等学校试用教材

高级日语教程

李士俊 冯建力

卢翠雪 张长林 雷跻九

高等教育出版社出版

新华书店北京科技发行所发行

河北省香河县印刷厂印装

开本850×1168 1/32 印张10.125 字数260 000

1990年2月第1版 1992年9月 第2次印刷

印数2·091—3 601

ISBN7-04-002606-6/H·312

定价3.40元

序

近十年来，我国的日语教育有了很大发展，日语教材也相继出了不少。但是，我感到，（一）为初学者的多，属中级过渡性的也有一些，但供提高日语用的高级教材却是凤毛麟角；（二）培养和训练单一语言技能（如阅读或会话等）的多，而同时培养、训练多项语言技能的综合性教材却也甚为罕见。当然，这二者之间不无联系。越是语言学习的高级阶段，越需要从听说读写译各个角度学习、发展。其实，对日语教材的这个看法并非我个人特有，也不是一时之感。1982—1983年，陕西省大学外语教学研究会日语分会曾几次议论过这些问题，二十余所院校的日语教师几乎全都同感。正因为日语教材的这个现状，各院校都感到在进行研究生第一外语教学时，在对高水平的大学生教授第一外语日语时，在培养对日语有高层次要求的科技干部时，缺少适用的教材。在这个事实面前，是让教学屈从现在的教材继续等待呢，还是从教学的需要出发去开发去奋斗呢？大家一致认为我们应该取后一种态度，我们必须取后一种态度。

为满足我省日语教学的实际需要，也考虑到全国日语教学的实际需要，我分会于1983年起组织力量着手了高层次日语教学的调查研究和资料收集工作，并在此基础上编写了《高级日语教程》。这本教材，经过省内外七所院校一次又一次的试用，经过编写组同志们的反复推敲，听取了国内许多专家的宝贵意见，采纳了教学第一线教师们、同学们不少好的建议，现在定稿了。

通览全书，我觉得这本教材是很有一些特色的。课文基本上做到了语言规范、题材丰富、体裁多样、实用性强，而且多是

国内教材尚未用过的文章，读起来新鲜、有趣；语法解说重点突出，不单纯地追求系统，不片面地探讨理论，力求针对学生的问题对症下药；每课的会话，配合该课课文而不拘泥，复习词汇语法而不机械，既有助于巩固语言知识，又有利于发展交际能力，与美国、加拿大十一所大学联合日本研究中心的“INTEGRATED SPOKEN JAPANESE”(我国译本“综合现代日语”)有异曲同工之妙。此外，词汇教学注意了构句功能，练习编排注意了搭配合理、切实可行，这些似也都是日语教材上的进步。

《高级日语教程》即将付梓，我和陕西的广大日语教师为编写组取得的这一可喜成果感到高兴。我们感谢编写组同志们几年来付出的辛勤劳动，感谢他们为陕西、为全国的日语教学作出的新的贡献；我们特别感谢在编写组中承担组织工作的李士俊、冯建力同志，他们在编写之外，作了大量的，具体的，乃至琐碎的工作。

《高级日语教程》在编写、修订、定稿过程中，承大学外语教材编审委员会委员刘长义先生详为审阅，承大学外语教材编审委员会委员林胜兴、金慕箴两先生提出宝贵的意见和建议，这些不仅是对本书编写组的帮助、鼓励，也是对陕西省日语教学的支持、关心，我代表陕西省大学外语教学研究会日语分会向他们表示衷心的感谢。

这本书出版发行用于教学之后，我相信定会得到更多的专家、教师、同学们的关心、帮助；我也相信，《高级日语教程》再版之时，定会改得更成熟、更完善。

陕西省大学外语教学研究会日语分会会长
西安交通大学外语系教授 顾明耀

1989年3月

编者的话

本教材是为适应非日语专业研究生日语（一外）教学的急需，为满足社会上具有一定日语水平又有志提高的读者的要求，在陕西省大学外语教学研究会日语分会的组织下编写的。

编写组从1983年开始深入地进行了调查研究，一方面了解了读者的需要，一方面分析了国内外多种中、高级日语教材。从而弄清楚了哪些语言知识应在高级日语教学阶段加深讲解，哪些词语、惯用型的使用应在高级日语教学阶段加强训练。同时仔细研究了现有教材中练习部分的题型设计，为编写形式多样、实用性强的练习丰富了思路，积累了资料。各项调研结果曾在1984年6月陕西省大学日语教学研究年会上作了专题报告。

在调查研究的基础上，编写组边收集有关资料，边着手正式编写，1986年春完成初稿。1986年9月起，在郑州信息工程学院、西安交通大学、西北工业大学、西安医科大学、陕西机械学院、西北纺织学院、陕西中医学院等院校的研究生班或提高班试用了初稿。边试用，边总结，边讨论，边修改，1987年9月修订稿脱稿，再次试用。根据各校两次试用的情况，三易其稿，于1988年8月提出了本教材的第三稿。此次定稿之前，又作了少量的、局部的修改和补充。

本教材共20课，可供160~180学时教学使用。

本教材每课包括课文、语法解说、词汇及句型解说、会话、练习五个部分。所选课文都是国内现有教材中未曾出现的原文，体裁多样，内容丰富，语言规范，生动有趣；语法解说部分，重点突出，实用性强，注意了日语提高阶段难点的比较，介绍了日语篇章法的知识；词汇及句型解说是对大学本科及社会上中级日语教学内容的加深和扩展，旨在帮助学生通过例句掌握词语及句型的用法；会话是配合各课的课文编写的，可用于开展听说训

练，巩固课文，并可帮助学生发展日语交际能力；练习部分题量较大，形式多样，便于学生复习巩固所学知识，并可满足因材施教的需要。为适应提高阶段用日语授课，训练学生听力的需要，本教材后几课的语法说明，改用日语撰写。另外，本书卷末附有难读词、重点词词汇表，以供查检。

本教材编写组的成员有：

李士俊（陕西机械学院）

冯建力（西北工业大学）

卢翠雪（西安医科大学）

张长林（西北纺织学院）

雷跻九（陕西中医学院）

本教材定稿前承国家教委大学外语教材编审委员会委员刘长义副教授详为审阅，两次修订过程中，承国家教委大学外语教材编审委员会委员金慕箴、林胜兴教授提出了宝贵意见；在1987年4月召开的全国研究生日语教材研讨会上，还承来自全国各地的日语专家、教授们提出了宝贵意见。对此，我们表示衷心的感谢。

本教材的筹备、编写、试用、修订、定稿工作，都是在陕西省大学外语教学研究会日语分会的关怀、指导下进行的。会长顾明耀教授多次参加了编务工作会议，并审阅了初稿、修改稿和定稿的部分样课；前副会长李汝松教授、樊天生副教授以及十余所院校的日语教师都曾多次出席编写前的调研分析会和编务工作会，和我们一起讨论、研究；试用本教材一、二稿的院校及时地把教学情况和师生反映告诉了我们；西安电子科技大学张永福老师在教材编写的前期和我们一起参加了调查研究工作。这些都是对我们的极大支持，对此，我们也表示衷心的感谢。

由于我们水平有限，书中想必存在许多缺点和不当之处，恳请各位专家、教授、日语工作者和广大读者批评指正。

编 者

1989年3月

目 录

第 1 课	1
课文: 人間を知るために	1
语法解说: “が” “は”的基本用法及区别	4
词汇及句型解说	7
会话	9
练习	11
第 2 课	15
课文: 新聞記事 (一)	15
新聞記事 (二)	16
语法解说: 格助词 “に”、“で”的基本区别	18
词汇及句型解说	20
会话	21
练习	22
第 3 课	26
课文: 正しく伝達するには	26
语法解说: 接续助词 “から” 和 “ので”的区别	29
词汇及句型解说	31
会话	33
练习	34
第 4 课	40
课文: イカサの悲劇	40
语法解说: 一、补格助词 “から” 的用法	43
二、补格助词 “を” 的用法	43
三、“から” 和 “を” 的基本区别	44
四、“から” 和 “で” 的区别	45

五、并列助词“だの”	45
词汇及句型解说	46
会话	47
练习	48
第 5 课	53
课文: 感性豊かな日本語→その習得の難しさ	53
语法解说: “ば”、“と”、“たら”、“なら”的用法及其异同	56
词汇及句型解说	58
会话	60
练习	61
第 6 课	66
课文: 晴れの帰国	66
语法解说: 一、助词“まで”的主要意义和用法	69
二、“まで”、“までに”、“までで”的基本区别	70
三、“まで”与“さえ”的相近用法	71
四、“まで”与“だけの相近用法	71
词汇及句型解说	71
会话	73
练习	74
第 7 课	79
课文: 簡潔な文章	79
语法解说: 一、助词“の”的用法	82
二、助词“か”的用法	84
词汇及句型解说	84
会话	86
练习	88
第 8 课	91
课文: 我が遠近法	91
语法解说: 一、接续助词“て”的主要用法	94
二、接续助词“つつ”的主要用法	95
词汇及句型解说	96
会话	97

练习	99
第9课	102
课文: 髪の毛	102
语法解说: 终助词“い”、“よ”、“ね”、“な”的主要用法	105
词汇及句型解说	109
会话	110
练习	112
第10课	116
课文: カボチャの日	116
语法解说: 一、“ようだ”、“らしい”、“みたいだ”、“そうだ”的 主要意义	119
二、“ようだ”和“らしい”、“みたいだ”、“そ うだ”的异同	120
词汇及句型解说	122
会话	123
练习	125
第11课	128
课文: 買い物	128
语法解说: 一、日语动词的“体”	131
二、根据“ている”进行动词分类	132
三、持续体“ている”的用法	133
词汇及句型解说	135
会话	137
练习	139
第12课	143
课文: 手づくりと自動化	143
语法解说: 一、完结体的主要意义	145
二、提示助词“こそ”的主要意义	146
词汇及句型解说	147
会话	149
练习	150

第13课	155
课文: カブトムシのいる所	155
语法解说: 一、存续体的主要意义	158
二、“である”的其他用法	158
三、“ておく”的其他用法	159
四、“ている”和“である”的区别	159
五、“である”和“ておく”的区别	160
词汇及句型解说	160
会话	162
练习	163
第14课	167
课文: 遣唐使の苦難と成果と	167
语法解说: 谓语的省略与简化的主要表达形式	170
词汇及句型解说	174
会话	175
练习	177
第15课	182
课文: 敬語の将来	182
语法解说: 一、敬语种类	185
二、敬语的用法	188
三、使用敬语时应注意的几个问题	189
词汇及句型解说	190
会话	191
练习	193
第16课	199
课文: 母の死と新しい母(一)	199
语法解说: 一、文と文とのつながり	203
二、文のつながり	206
三、「と」、「そ」、「あ」、「ど」の使い分け	209
词汇及句型解说	210
会话	212

练习	213
第17课	217
课文: 母の死と新しい母 (二)	217
语法解说: 一、文と文との関係	221
二、文と文との接続の型	222
词汇及句型解说	226
会话	227
练习	228
第18课	232
课文: 旅での出会い	232
语法解说: 一、段落	236
二、読点の打ち方	240
词汇及句型解说	243
会话	244
练习	246
第19课	250
课文: 一、推薦状	250
二、招請状	250
三、お礼	251
四、お詫び	252
五、年賀状	252
六、はがき	253
语法解说: 一、通信文について	253
二、電報の用語について	260
词汇及句型解说	262
会话	263
练习	265
第20课	268
课文: レポートと小論文	268
语法解说: 一、レポートの書き方	274
二、小論文の書き方 (一)	276

三、小論文の書き方（二）	278
词汇及句型 解说	280
会话	281
练习	282
难读词、重点词词汇表	285

第 1 課

人間を知るために

人間の体を機械と同じように考える人があります。そういう人は、人体も機械のように心臓や胃や目などの部分品が集まってできていると考え、胃がおかしいときには胃という部分品が故障したと考えます。したがって、胃を修繕しさえすれば、病気が治ったと考えることになります。

また、その部分品にしても、心臓はポンプで、目はカメラで、脳はコンピューターのようなもの、と考えたりします。そういう、脳とコンピューターを同じに考える人は、いつの間にか、コンピューターと同じように働く脳を優れたものと思うようになります。速く正確に計算ができたり、なんでもそのままに記憶できたりすることが頭のいいことだ、と考えている人も少なくないでしょう。

しかし、人間は機械と同じなのでしょう。人間は複雑な機械にすぎないのでしょうか。もちろん、人間には機械に似たところもあります。だから、人間のことを機械を研究するように研究するのも無意味ではありませんが、しかし、それでわかることは人間の一面にすぎません。

アメリカでは、1976年の建国二百年を記念するつもりで、その何年も前に、火星へのロケット着陸とがん制圧という大きな研究目標を立てました。このときまでに科学者が力を合わせて大規模な研究を続けた結果、すでに月旅行に成功していました。そこで、その月旅行の科学を発展させて、火星ロケットには成功しました。ところが、一方のがん制圧のほうは期待したような成果をあげることができませんでした。つまり、機

械をつくる科学のほうは急速に進歩してゆきますが、人間の病気を治す科学のほうはそう簡単にはいかないということです。人間は機械と同じではないからです。

それでは、どこが違うのでしょうか。人間はいつも生きるために行動する、という点が機械と違うのです。機械は生きていませんから、生きるために行動するということはありません。生きるとは、死なないで活動していることです。だから、機械も動いていれば生きてるように見えます。しかし、機械を動かしているのは人間で機械自身ではありません。それに対して人間は、生きるために自分自身で行動するのです。

生きるということは、死なないということだけではありません。機械ならば、いつも同じように動いているのがいい機械だということになります。進んだり後れたりする時計や、時時動かなくなることもある自動車などというものは、故障している機械です。しかし、人間はいつも同じことをくり返しているわけではありません。人間はただ動いていればいいというものではないのです。

例えば、君は毎日学校に通っていますが、一日一日の生活は決して同じではありません。先生や友達の話から新しいことを一つでも知れば、それだけ君の生活も変わります。君が生まれたばかりのときには、時時泣いたり、お乳を飲んだりするだけで、あとはほとんど眠り続けているという赤ちゃんでした、その君が、今では英語も読めるし、サッカーやテニスもできるようになりました。このように変わってゆくのが人間ですが、ただ変わるのではなくて、次第に進歩し高等になってゆくのです。つまり、人間は、ただ死なないように行動しているというのではなく、進歩発展するという点でも機械と違うのです。生きるとは、そういうことなのです。

念のために書いておきますが、これは、人間は進歩発展しな

ければならない、といっているのではなく、人間は進歩発展するようにできている、ということなのです。いやでも、そうなるようになっている、ということなのです。

ところで、人間が生きるということは、一人の人間が生きるということだけではなく、人類が生きるということをも意味しています。一人一人の人間が生きなければ人類は滅びてしまいますが、逆に、人類という集団が健在でなければ、一人一人の人間は生きられません。つまり、人間は一人では生きることができないのです。

集団の中で、仲間とともに生きるということは、生きているものの特性です。アメーバにしても、さるにしても、機械とは違って生物ですから、やはり、進歩発展し、仲間とともに生きるように行動します。このような特性は、人間よりむしろ、動物の行動の中にはっきりと見ることができます。動物の行動を観察すると、仲間とともに生きている様子がよくわかります。生存のための争いも、種類の違う動物の間の出来事であって、仲間どうしでは相手を致命的に傷つけるような争いをしないのが普通です。こういうことから、人間も本当は、人類として、仲間とともに生きるようにできていることに気づくことができます。

最後に、「人間は仲間とともに生きるようにできている」ということと関連して、ぜひ知っておいてほしいことがあります。それは、自分のことを知ると同時に、他人のことを理解しようと努める、ということです。

人間の中には自分も他人もふくまれていますから、人間を知るためには他人のことがわからなければなりません。そして、他人のことがわからなければ、自分のことも本当にはわからないのです。

ところが、人間は、自分に似ている人間や気に入った人間のことにはわかったような気がしますが、自分の気に入らない人

間のこととはわかりたがらないものです。わからないのではなくて、わかろうとしないのです。例えば、君たちが喜んで聴いている音楽を、もし大人がやかましいと文句を言ったとしたら、そういう大人の気持ちが君にはわからないかもしれません。また、大人のほうも今の若者や子供はわからない、などと言ったりするでしょう。

これでは、人間のことをわからなくなるだけではなく、いろいろと困ったことになります。自分のことや、自分に似た人や、自分の気に入った人のことだけはわかったようなつもりでいて、気に入らない人のことはわかろうとしない。——そういう人間だけがいたら、どういうことになるのでしょうか。人間が自分勝手になるだけで、対立がひどくなるばかりです。

たしかに、人間は複雑でわかりにくいものです。しかし、わかろうとしない、という態度を捨てるだけで、ずいぶんとわかりやすくなるはずで。そうして、他人のことを理解しようと努力し、いろいろの人間のことわかるようになればなるほど、君自身もより豊かになるでしょう。

※(1) 建国二百年 アメリカの独立は1776年。1975年に建国二百周年を記念して打ち上げられた火星軟着陸用のパイキング1、2号は、翌年の1976年、火星着陸に成功した。

(2) 月旅行 アメリカのアポロ11号は、1969年7月、月着陸に成功している。

(3) アメーバ 体全体がただ一つの細胞でできている原始的な動物。体を変形させながら、運動したり食物をとったりする。

语法解说

“が” “は” 的基本用法及区别

(一) “が” 的基本用法

1. 表示主语